鈴木貴晶
自由クラブ

ごみステーションの管理とごみの活用など

問 メルカリＳｈｏｐｓへの今後の出品に関して、デザインマンホールを出品することについて、市の考えを伺う。

答 リユースを推進するためには、出品物の選定は大変重要な要素であり、ニーズの把握や魅力ある出品物の提供が大切になると考える。デザインマンホールについては、出品できるか検討していく。

若手人材確保と定着が目的の独自の奨学金返還支援制度

問 明日の蒲郡を担う若者へ投資する意味で、独自の奨学金制度を設けることについて伺う。

答 研究や調査を進める中で、蒲郡で育ってよかったと思えるような支援制度を示す努力をする必要があると感じている。

市民総ぐるみ防災訓練について

問 体験型の訓練として、自衛隊による野外炊具体験を導入することについて、市の考えを伺う。

答 実際に調理をすることについては、食品衛生法上の制限等もあると考えるが、自衛隊が防災訓練に参加することについては、市民の防災意識の向上や日頃からの備えの啓発にも期待できるため、7年度以降の防災訓練において積極的に参加を依頼していきたいと考える。

野外炊具１号

大須賀 林
自民党市議団・無所属の会

地下埋設管等に起因する道路陥没について

問 埼玉県八潮市の陥没事故を受け、本市で下水道管の緊急点検は行ったのか。

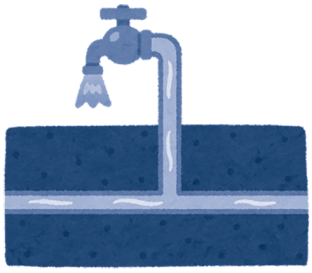
答 2月10日から15日の間で目視及びカメラ調査を行い、簡易な対応によって必要な措置を5年未満まで延長できる緊急度が中程度の箇所が1スパンあった。

問 本市で、過去に地下埋設物の破損に起因する道路陥没があったのか伺う。

答 平成29年10月に竹島水族館から郵便局に通じるマリンロード、松原町地内で、コンクリート管の破損による道路陥没が発生した。これ以降に大規模な道路陥没は発生していない。令和6年度は、側溝等の排水構造物の不良による道路陥没を43件対応しているが、汚水管及び水道管が原因とみられる道路陥没は確認していない。

問 耐用年数を過ぎた管渠は今後どのように管理していくのか伺う。

答 下水道のコンクリート管の標準耐用年数は50年であり、現段階では供用開始から耐用年数を過ぎてはいない。現在はカメラによる管内調査を実施しており、早急な対応が必要な箇所は、管の補修または取替えをしている。7年度にはストックマネジメント修繕・改築計画を策定し、9年度から計画に基づき、下水道管の改築に着手予定である。



日恵野佳代
無会派・日本共産党

児童クラブの拡充について

問 竹島小学校の児童クラブで、36人が待機児童となっている。早急な対応が必要では。

答 竹島小の図書室を使うことで調整を進めている。

問 竹島小以外の待機児童は55人となっている。対策を伺う。

答 利用率を考慮し入所可能人数を再計算すると、大部分の待機を解消できると見込んでいる。東部小学区は公民館での児童クラブ開設で調整を進めている。

国民健康保険およびマイナ保険証

問 国保税は他の健康保険より負担が重い。一般会計から子どもの均等割額と同額を支給してはどうか。

答 国保に関することは特別会計内で収めることが基本と考える。

問 マイナ保険証は、電子証明書の5年更新が高齢者や障害者には負担である。要配慮者申請をすれば資格確認書が更新時に郵送されるという案内が必要ではないか。

答 マイナンバーカードを持たない、またはマイナ保険証の利用登録をしない人には、資格確認書を申請によらず交付する。

電子証明書の更新手続は、来庁が難しい人には申出により回答書を郵送し、代理人が回答書を持参することで手続が可能となっている。